

一般社団法人
豊岡観光イノベーション

決算書類

第7期

自 令和4年4月1日
至 令和5年3月31日

事業の概要と成果

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、「新しい生活様式」への転換や国際的な往来の制限により、観光客数の減少など大きな影響を受け、特に、コロナ禍以前においては毎年増加していた外国人旅行者は、ほぼ皆無となり、観光事業者にも極めて大きな打撃を与えてきました。ようやく、2022年10月11日、外国人旅行者の入国者数の上限が撤廃され、個人旅行者の入国も解禁されました。日本政府観光局は3月の訪日外国人旅行者数が約181万人に達し、新型コロナウイルス感染拡大前の2019年同月比の65.8%まで回復したことを発表しました。

当法人においては、外国人旅行者の入国制限の期間においても、SNS等を活用した地道な情報発信を続け、入国制限の緩和が始まる前の2022年6月からWEB上にて訪日外国人ウェルカムキャンペーンをスタートさせました。9月からは、本市への来訪の歓迎を伝える「ウェルカム動画」を発信するとともに、WEBサイト「Visit Kinosaki」経由の予約者にエコアメニティやトートバッグをプレゼントする企画「ウェルカムキャンペーン」を本格的に始めました。また、個人旅行が解禁となった10月からは、宿泊施設にて「ウェルカムカード」を配布する取り組みも行ってきました。

この結果、2022年度のWEBサイト「Visit Kinosaki」の流入数(UU)は、過去最高を記録し、同サイトにおける宿泊予約件数、予約金額も過去最高となりました。外国人旅行者の入国制限の期間における継続的な情報発信、訪日旅行解禁前から準備し、解禁のタイミングを見計らって実施した「ウェルカムキャンペーン」が功を奏し、狙っていたインバウンドのスタートダッシュに成功することができました。

2022年度は、前年度に引き続き、観光DXに力を入れ、宿泊施設で利用いただく共通PMS(ホテル管理システム)の展開、地域WEBアプリ「豊岡市スマホ観光ナビ」の開発に取り組みました。今後は、2021年度に開発した地域の宿泊予約データを自動収集して図表化するシステム「観光DX基盤」と合わせて有効活用し、観光地CRMに取り組んでまいります。

その他にも、国内観光総合サイトの構築、国内外の旅行会社に対する旅行商品造成に向けた営業活動、海外メディアへの記事露出の働きかけ、ローカルガイド養成講座、体験プログラムの企画造成、広域連携など、観光地マーケティングに精力的に取り組んできました。

損益状況は、営業利益5,218千円、営業外収益12,934千円となり、当期経常利益は18,152千円、税引き後の当期純利益は、14,615千円となりました。関係者の皆様方のご支援、ご協力をいただき役員・職員日々業務に取り組んできましたことをご報告いたします。

一般社団法人豊岡観光イノベーション 組織概要

1. 設立日

2016年6月1日

2. 社員

豊岡市

WILLER株式会社

全但バス株式会社

株式会社但馬銀行

但馬信用金庫

3. 役員

理事長 関貫 久仁郎

副理事長 村上 宣人

副理事長 西上 均

事業本部長 島津 太一

理 事 村瀬 茂高

倉橋 建

川上 晃弘

高宮 浩之

武田 和徳

大社 充

米田 紀子

監 事 作花 良祐

4. 事業本部職員

事業本部長（理事、派遣職員） 1名

派遣職員 6名

嘱託・臨時職員 5名

5. 基金拠出額

28,700千円

決算報告書

第 7 期

自 2022年 4月 1日

至 2023年 3月 31日

一般社団法人豊岡観光イノベーション

(一社)豊岡観光イノベーション
貸借対照表
2023年 3月31日 現在

単位:円

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
I 流動資産	90,591,971	I 流動負債	30,471,469
1 現金	28,798	1 未払金	14,537,009
2 預金	70,894,357	2 未払法人税等	3,536,700
3 売掛金	0	3 預り金	22,462
4 前払金	0	4 仮受金	10,981,198
5 立替金	0	5 未払消費税等	1,394,100
6 未収入金	19,668,816	II 固定負債	0
II 固定資産	3,650,603	負債合計	30,471,469
1 有形固定資産	650,603	純資産の部	
・一括償却資産	650,603	I 純資産	63,771,105
2 無形固定資産	0	1 基金	28,700,000
・ソフトウェア	0	2 利益剰余金	35,071,105
3 投資その他の資産	3,000,000	・繰越利益剰余金	35,071,105
・差入保証金	3,000,000	純資産合計	63,771,105
資産合計	94,242,574	負債・純資産合計	94,242,574

(一社)豊岡観光イノベーション
損益計算書

自 2022年 4月 1日
至 2023年 3月31日

単位:円

科目	金額	備考
I 純 売 上		
1) Visit Kinosaki 手数料	1,323,899	
2) ツアー等売上高		
・ 着地型ツアー、体験プログラム	7,976,952	
・ 旅行会社ツアー	556,530	
・ ふるさと納税返礼品プログラム	215,510	
3) 視察売上高	404,347	
4) マーケティング売上高	153,219	
5) 会費収入	1,530,000	小計 12,160,457
6) 委託料収入		
・ Visit Kinosaki 運用	3,894,000	
・ 海外プロモーション事業	2,017,790	
・ 機動的プロモーション事業	14,673,000	
・ 国内WEBマーケティング事業	3,663,000	
・ 国内向けホームページ改修業務	1,700,000	
・ 国内誘客キャンペーン業務	1,199,000	
・ 高付加価値ツアーリズム推進業務	906,000	
・ 市内周遊促進事業	19,164,200	
・ 観光施策評価指標データ収集	1,802,000	
・ 豊岡観光DXシステム構築業務	30,000,000	
・ アンケート委託事業	180,000	
・ ネオカル TOYOOKA WEB制作業務	534,600	
・ フラップトヨオカ管理運営	402,450	
・ 豊岡観光DX地域アプリ開発運用業務	20,000,000	
・ その他業務委託料	813,342	小計 100,949,382
	113,109,839	
II 売上原価		
1) ツアー等関連経費		
・ 着地型ツアー、体験プログラム	5,807,373	
・ 旅行会社ツアー	473,442	
2) 視察関連経費	22,800	6,303,615
売上総利益		106,806,224
III 販売費および一般管理費		
1) 給料手当	9,640,451	
2) 賞与	1,730,356	
3) 法定福利費	1,603,258	
4) 福厚厚生費	50,578	
5) 広告宣伝費	28,322,176	
6) 旅費交通費	662,856	
7) 交際費	33,786	
8) 会議費	126,387	
9) 車両費	167,741	
10) 通信費	465,055	
11) 水道光熱費	360,000	
12) 租税公課	139,021	
13) 消耗品費	1,211,057	
14) 共有費	262,014	
15) 賃借料	1,392,000	
16) リリース料	796,224	
17) 修繕費	0	
18) 保険料	103,438	
19) 支払手数料	4,839,183	
20) 諸会費	0	
21) 減価償却費	1,704,184	
22) 委託費	45,270,549	
23) 研修費	385,000	
24) 消費税	2,323,300	101,588,614
営業利益		5,217,610
IV 営業外収益		
1) 受取利息	524	
2) 市補助金収入	12,276,896	
3) 国県補助金収入	554,550	
4) 雑収入	102,225	12,934,195
V 営業外費用		
1) 支払利息	0	
2) 雑損	87	87
経常利益		18,151,718
税引前当期純利益		18,151,718
法人税、住民税及び事業税		3,536,780
当期純利益		14,614,938

個 別 注 記 表

自 令和 4年 4月 1日
至 令和 5年 3月31日

- 1.この計算書類は、中小企業の会計に関する基本要領によって作成しています。
- 2.重要な会計方針に係る事項に関する注記
 - (1)固定資産の減価償却の方法
 - 有形固定資産・・・定率法
 - 無形固定資産・・・定額法
 - (2)消費税等の会計処理
 - 消費税等の会計処理は税込方式により処理しております。